

(事例1) 25歳男性、石油化学工場構内設備の保全整備、PTSDのため就業制限

類型	症候	疾患
1	2. 希死念慮	15. PTSD

きっかけ	<input type="checkbox"/> 健康診断の有所見	<input checked="" type="checkbox"/> その他の機会
<p>1. 対象者のプロフィール</p> <p>1) 年齢、既往歴 25歳 男性 特記事項なし</p> <p>2) 業種、作業内容 石油化学コンビナート構内、設備の保全整備</p>		
<p>2. 就業制限・配慮の対象となった疾病、健診値異常 例) 高血圧、HbA1c 高値、腰痛など PTSD疑い</p>		
<p>3. 就業制限・配慮の内容 例) 高所作業禁止、出張禁止、残業禁止、配置転換、治具導入など 就業制限は段階的解除、現場勤務は段階的に増やし、時間外労働は当面45時間以内。同行者あり、精神的・身体的にハードでなければ出張可</p>		
<p>4. 事例の詳細(背景、経緯、特に考慮した事情など)</p> <p>4人班の班長、班員が死亡災害に遭遇。動揺激しく希死念慮もあり数回精神科に通院、改善傾向を認めたため復帰可とした。改善までは勤務も難しい状態であった。</p>		
<p>5. 就業制限・配慮の主な目的(複数回答可)</p> <p>① 業務が当該労働者の健康、安全、疾病経過、予後に影響を与える可能性があったため</p>		
<p>6. 就業制限を実施するにあたって注意した事、阻害要因、問題点などあれば教えて下さい フラッシュバックなどの懸念があり、段階的に行動範囲、業務範囲をひろげた。</p>		